

令和3年度 全国学力・学習状況調査及び県調査の武雄市結果の公表にあたって

武雄市教育委員会

武雄市は平成24年度から学校ごとに公表した学習状況調査の結果をまとめて、市のホームページで公表してきました。今年度も保護者・地域住民の皆様には学校の現状と取組、武雄市の取組が分かっているように公表を行います。

学校教育は、「知・徳・体のバランスのより高い調和」を目指しており、今回公表した学力調査結果はその一部であり、また、日々成長している子どもたちの現時点での一面であります。この結果を受け指導方法の新たな検討、校内研修の活性化等に取り組めます。保護者・市民のみなさまに学習状況・意識調査（家庭や地域での学習や生活状況）の結果をお知らせすることにより、武雄市の教育への関心を高め、市民総ぐるみで教育を考えていただく機会にしたいと思っております。

児童、生徒の学力の向上には、学校と家庭や地域との連携が必要です。今回学習状況・意識調査を合わせて公表することで連携体制をより強くしていきたいと思っております。

公表は小学校6年生、中学校3年生は全国学習状況調査の結果です。（昨年、一昨年の結果は佐賀県小・中学校学習状況調査の結果を含む）

全国学力・学習状況調査は、知識・技能等と活用する力等を一体的に問う問題の調査となっています。

各学校のホームページには、学校ごとの分析と改善に向けた具体的な取組を掲載しておりますので、あわせてご覧ください。

1 生徒の実態

(1) 学習状況調査結果の推移

	国語		算数	
	5年時	6年時	5年時	6年時
H28入学 現6年生	67.2		53.1	
	(1.07)		(1.03)	
R3 正答率の全国比		60		62
		(0.92)		(0.9)
		0.93		0.88

◎5年時は佐賀県学習状況調査、6年時は全国学習状況調査の推移。

◎上段は平均正答率、下段()は県平均を1としての比較。

◎「令和3年正答率の全国比」は全国平均を1としての比較。

(2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態

6年生4月の全国学力テストの結果では、国語も算数も、全国平均・県平均と比べて低い正答率であった。問題別に見ると、どちらの教科も全国や県よりも高い正答率の問題もたくさんあった。しかし、国語の文法の問題や、国語・算数の記述式の問題にいくつか極端に正答率が低いものが見られたことと、個人差が非常に大きかったために、平均正答率が下がった。意識調査に関しては、家庭での学習時間が若干少なかったが、自己肯定感、将来の夢、学習習慣、生活習慣など、県や全国と比較しても、同等か、よい結果が出ていた。

2 改善に向けた具体的な取組

(1) 授業づくり、指導方法の改善・充実のための重点取組

全国や県と比較して低かったものについて、今後も継続して指導を行っていきたい。国語の文法の問題については、普段の学習の中で担任が意識して指導をしていくことや、宿題・練習問題のプリントなどを使って指導を行っていく。また、記述式の問題については、どの学習においても、問題の解き方を記述したり、自分の考えを文章で記述したりといった、文章を書いて答える練習も行っていく。個人差も大きいので、理解に時間がかかる児童への個別指導も、継続して力を入れていきたい。

(2) (授業以外) 児童・生徒の課題改善のための重点取組

意識調査から、家庭での学習時間について、30分以上勉強しているという児童は、全国や県と比較しても大きく上回っていたが、1時間以上になると大きく下回ってしまう。宿題以外にも工夫して勉強をするなど、学習時間を少しずつ増やしていくよう指導を行う。

調査からは、児童はおおむね自分の夢や目標をもって学習に取り組んでいる様子がうかがえる。このような意識が今後も継続していくよう励ましながら指導を続けていきたい。